



農業保険実施能力向上プロジェクト ニュースレター

2020年11月発行

現行農業保険の指導者育成研修開催

現行の農業保険AUTP（コメに対する実損型保険）への理解と普及のために、農村普及員や病虫害検査員などを対象に指導者育成研修をしました。パイロット州である東ジャワと南スラウェシに向けてそれぞれ3日間のオンライン研修を行い、計80名近くが参加し、各地で今後の普及計画を立てました。



第5回JCC開催

11月30日、第5回目の合同調整会議（JCC）をオンラインで開催しました。共同実施5機関と事業関係者など42名が参加し、今期の進捗と今後の計画について協議しました。AUTPのガイドラインへの提言の反映、AYIIパイロット実施に向けての各州との協働、大統領令草案の策定に向けた取り組みについて討議し合意しました。

農業保険オンラインセミナー



11月13日、AgroinsuranceのRoman Shynkarenko氏を迎えて農業保険に関する勉強会及び討議を行いました。昨年のプロジェクトでの調査から得た知見により、現行のAUTP(コメ農業保険)に対する提言が行われ、長期にわたって継続できるように、具体的なステップが提案されました。

プロジェクトメンバー紹介

プロジェクトマネージャー



Dr. Dodo Gunawan
(ドド・グナワン氏)
気候変動情報センター長
BMKG(気象気候地球物理庁)

プロジェクトマネージャー



Mr. Diwe Novara
(ドウウィ・ノバラ氏)
ビジネスデベロップメント長
JASINDO(国営保険会社)

